

IV-⑥

どんなイエに住んでいたのだろうか？

岩宿（旧石器）時代の遺跡からは、ほかの時代にみられるようなはっきりとしたイエの跡が発見されることは、ほとんどありません。このことから、岩宿人たちはテントのような簡単なイエに住んでいたため、イエの跡がほとんど残らなかったと考えられています。

この時代は最古の時代なので、そのような簡単なイエしか作れなかったのでしょうか。もう少し岩宿（旧石器）時代の生活について考えてみましょう。岩宿人たちは、狩りをしながら移動生活を営んでいたと考えられています。そのことは、数カ月ごとに引っ越すことを意味しています。私たちがキャンプをするときのテントを想像してみると、1時間もたないで簡単にイエが建てられることがわかっておもしろいと思います。このように岩宿人たちは、簡単なテントのようなイエに住むことによって移動生活をやすくしていたとも考えられるのではないのでしょうか。

● 神奈川県田名町向原遺跡のイエ
（住居状遺構）
（提供：相模原市立博物館）

川原石で囲まれた直径約10mの大形のイエの跡が発見された。その内部には火をたいた炉跡が2カ所、柱を埋めたと考えられる穴が12カ所あり、多数の石器が発見されている。



● 皮で覆われたイエ

岩宿時代のイエは、このような簡単なテントのようなものだと考えられている。毛皮であれば暖かく冬も乗り越えられたのかもしれない。このイエは、フランスのパラン高原から発見されたイエの跡から復原されたもの。



● 毛皮のイエを建てる

毛皮で覆われたイエを実際に作ってみると、小学校6年生が6人で、2時間ほどでできあがった。